

第60期 ～期首によせて～



今年も風薫る季節となりました。芽吹いた新緑の若葉や樹々、その瑞々しい美しさに、ふと癒される今日この頃ではありますが、国外に目を向けますと、まるで時間が逆戻りをしたかの様な信じ難い他国への侵略戦争が厳然とあり、一方で、国内では未だコロナは収束の域に達しておらず、諸般の事情による形の良くない円安や、それらを一因としたエネルギー費を含む急激な諸物価の高騰なども相俟って、今後の経済情勢にも更なる暗雲が立ち込めております。

思えば近年だけ考えましても、リーマンショック、東日本大震災、コロナ禍、そしてロシアの侵攻と、立て続けに経済を揺るがす内外からの大きなうねりに翻弄されてきました。でもその度にそれらをバネとして、鋼の如き強靱な組織を目指しほんの少しずつではありますが、経営改革を進めて参りました。

国家動向から鑑みた時、我々民間企業に出来ることは非常に限られますが、それでも目には見えづらい縁の下の力持ち的存在であれ、我が国をこの『金属熱処理技術』を通じて少しでも支えて行くことが出来れば、そう強く感じておる次第です。

さて、当社も節目となる第60期のスタートを切りました。第二次中期経営計画(3ヶ年)の仕上げの年として、全社員の総力を結集し経営戦略目標の達成を図ってまいります。また、皆々様の常日頃のご愛顧に対し、心より深く感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

島崎熱処理株式会社
代表取締役社長
嶋崎利行

第60期 経営社長方針

本年度は数値による経営目標管理の更なる進化を目指し、そのスキルアップと共に量から質への転換を計り、損益分岐点の押し下げによる利益の向上をその主眼とした、原価低減や生産性の改善に邁進する。その為に引き続き設備メンテナンスコスト計画を強力に推進し、緻密な営業戦略のもと売上の達成を図る。

また労働環境と5Sの改善を引き続き全社で推し進め、安全衛生と品質第一を徹底しよう。

防火対策

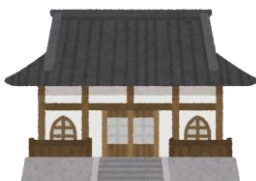
4月18日に移動式二酸化炭素消火器を3台設置しました。移動式粉末消火器はありましたが、大きな移動式二酸化炭素消火器の設置は心強い味方です。威力もかなりのものとのこと。設置場所は製造第一グループのA・Bと製造第三グループに一台ずつです。新しく買った設備ですが、できるなら使いたくはないものです。油污れや煤の除去など日頃から出来る対策はもちろん、消火訓練等で防火対策を進めていきたいです。



GWについて

皆さんゴールデンウィークはどの様に過ごされましたか。私は前回の担当の時も書きましたが、家のかたづけ(断捨離?)をしていました。休み中ずっとです。おかげでやっと終わりが見えてきました。コロナ禍の外出制限が無くなったにもかかわらず、家の中でゴミ袋片手に奮闘していました。

ここ2年ほどは散歩がてらに地元の探索をしていました。私の地元は古い町で戦国時代の城跡や江戸時代の遺跡などがあり、田畑と住宅街が混在する町です。茅葺きの家もまだあったりして歩き回っていて退屈しません。住宅街の方は新しい道が出来ていたり、知らない店があったりでなかなか面白く、子供の頃自転車で走り回っていた頃とは違った街の探索を楽しみました。出不精な私ですが、観光地への旅行とはまた違った楽しみを見つけました。



○編集後記○

私は五月晴れのこの季節が一番好きなのですが、今年は雨が多くて残念です。このまま梅雨に入ってジメジメして、梅雨明けして猛暑になってと考えると憂鬱になります。仕事上暑さより湿度の方が辛いので、暑くても湿度が低い5月が続けばいいなといつも思っている次第です。